

授業科目名	日本語表現	教員名	小柴 裕子	免許・資格 との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
					保育士	選択必修
授業形態	講義	担当形態	単独		こども音楽療育 士	
科目番号	JIN105	配当年次	1 年次前期	卒業要件	小幼コース	選択必修
単位数	2 単位				幼保コース	選択必修
科目						
各科目に含める 必要事項						
一般目標	・日本語及び外国語への関心を高め、その特色を理解する。 ・多元的アプローチを通じ、複言語・複文化能力を育成する。					
到達目標	(1) 話題や題材に応じて、情報を分析しつつ、自分の考えを深めることができる。 (2) 相手の立場や自分とは異なる考えを尊重し、討論の中で、論拠の妥当性を判断できる。 (3) 論理の構成や描写の仕方などを工夫して表現できる。 (4) 日本語及び外国語におけるさまざまな表現法を習得し、効果的に話したり書いたりできる。 (5) 複言語・複文化に対する関心を持ち、視野を広げる。					
ディプロマ・ポ リシーとの関係	本講義は、学科のディプロマポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている、3. 教育者として、持つべき十分な記述力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	価値観の多様化する現代において、言語環境は大きく変容しているが、その中であって、論理的に思考する力、豊かな発想のもととなる創造力、またそれを表現する力が必要不可欠となっている。本講義では、日本語及び外国語への関心を深め、それらの能力を含めた複言語・複文化能力の育成を目指す。内容は、神話・昔話・民話などの「お話」から、多様なことば・文化・表現を学ぶ。また、関心のある題材についてプロジェクトワークを実施し、その成果を発表する。					
履修条件・ 注意事項						
授業計画	第1回：授業概要説明 複言語・複文化とは（目標(2)(5)） 第2回：日本語・日本文化を考える①（神話・昔話・民話などの「お話」から）（目標(1)(2)(4)） 第3回：日本語・日本文化を考える②（神話・昔話・民話などの「お話」から）（目標(1)(2)(4)） 第4回：日本語・日本文化を考える③（神話・昔話・民話などの「お話」から）（目標(1)(2)(4)） 第5回：日本語・日本文化を考える④（神話・昔話・民話などの「お話」から）（目標(1)(2)(4)） 第6回：プレゼンテーション（目標(1)(2)(3)(4)） 第7回：複言語・複文化を考える①（神話・昔話・民話などの「お話」から）（目標(1)(2)(5)） 第8回：複言語・複文化を考える②（神話・昔話・民話などの「お話」から）（目標(1)(2)(5)） 第9回：複言語・複文化を考える③（神話・昔話・民話などの「お話」から）（目標(1)(2)(5)） 第10回：複言語・複文化を考える④（神話・昔話・民話などの「お話」から）（目標(1)(2)(5)） 第11回：プレゼンテーション（目標(1)(2)(3)(4)(5)） 第12回：プロジェクトワーク①（目標(1)(2)(3)(4)(5)） 第13回：プロジェクトワーク②（目標(1)(2)(3)(4)(5)） 第14回：プロジェクトワーク③（目標(1)(2)(3)(4)(5)） 第15回：プレゼンテーション（目標(1)(2)(3)(4)(5)）					
学生に対する評 価	課題・レポート（40%）、プレゼンテーション・プロジェクトワーク（60%）を総合して評価する。					
時間外の学習 について	講義における課題については、必ず指定された日までに提出すること。また、プロジェクトワークは協力し、準備を周到に行うこと。					

教材にかかわる 情報	講義時に適宜プリントを配布する。
担当者からの メッセージ	シラバスは、講義の進捗等により変更の可能性があります。
オフィスアワー	講義前後の時間。その他必要に応じて行う。
備考	